

ショウティック かわら版

昭和電工株式会社喜多方事業所
昭和電工喜多方アルミ株式会社
発行日：2018年9月28日
第34号

会津工業高校PTAの 工場見学を実施しました

6月26日、会津工業高校PTAの皆様と教員の方々23名の工場見学を実施しました。

はじめに、会社及び事業の概要説明を行い、その後、製造現場をご覧いただきました。製造現場では卒業生を含む従業員がチームワークを発揮しながら真剣に作業する様子もご覧いただけました。

工場見学後の質疑応答では、「製造現場の熱中症対策はどうしているのですか?」「入社後のキャリア形成に学校の専攻が影響するのですか?」などの質問をいただき、様々な側面から関心をお持ちいただいていることがわかりました。

今回の工場見学を通じて、当社についてだけでなく、製造業そのものや製造業で働くイメージの理解の一助になれば幸いです。

今後も、地域の皆様に当社をご理解いただく取り組みを進めて参ります。



工場見学の様子



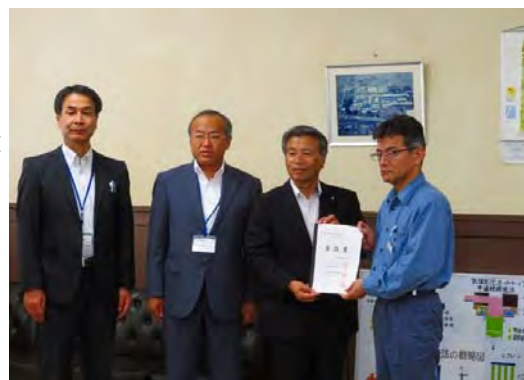
事業所概況説明の様子

喜多方市副市長 福島県会津地方振興局長 ハローワーク喜多方所長 が来場

6月26日、上野喜多方市副市長、佐久間福島県会津地方振興局長、菅家ハローワーク喜多方所長が雇用確保要請事業の一環で来場されました。

新規高卒者の就職についての喜多方市内への留保率の低さや、ハローワーク喜多方管内での有効求人倍率が1.0倍を下回ったという状況や、女性や障がい者や高齢者の雇用も含めて、管内及び当社の状況についての意見交換が行われました。

当社では、今後も地域の中での雇用に対する責任と期待に応えられるよう取り組んで参ります。



事業所にて
左から、菅家所長、佐久間振興局長、
上野副市長、中川総務部長



アルミ缶リサイクル活動 の収益金を寄付

当社では、従業員が飲んだ飲料のアルミ缶を集め、リサイクルに出す活動を行っており、その収益金を定期的に社会福祉団体へ寄付しています。

6月27日、2017年の収益金（68,549円）を喜多方市社会福祉協議会へ寄付しました。同協議会は、高齢者を対象とした交流の場を設けたり、子育て支援事業を行うなど、地域の社会福祉の発展に貢献しており、今回の寄付金もその活動の運営資金に役立てられるとのことです。

今後もアルミ缶リサイクル活動を推進し、地域社会へ貢献して参ります。



喜多方市社会福祉協議会武藤会長へ
寄付金を手渡す中川総務部長



いきいきサロンやおもちゃ図書館の様子

納涼祭

毎年恒例の「納涼祭」を、7月27日に当社グラウンドにて開催しました。

晴天に恵まれ、屋外での開催となり、準備の際には連日の猛暑による熱中症なども心配されましたが、トラブルなく実施されました。

本社地域からの参加も多数あり、場内で働く従業員とその家族、来賓の皆様、約350名が参加し、年に一度の貴重な交流の場となりました。

恒例のカラオケでは、小さなお子さんと親子での参加、職場で声をかけあってのチーム参加等、多くの方にご参加いただき、昨年に続いて橋本社長も熱唱されるなど大変にぎわいました。



グラウンドでの様子

焼きそば、焼き鳥
フランクフルト
かき氷、等
提供しました



橋本社長と関東地区メンバーによる熱唱



ミニSLの様子

また、昨年雨に降られたミニSLは今年の大きな目玉となり、子供から大人まで、のべ340名が利用し、楽しんでいただきました。

今後も参加者の笑顔を忘れず、人と人との交流を大切にしていきます。

発行元：昭和電工(株)喜多方事業所(総務課)
お問合せ先：福島県喜多方市字長内7840
電話：0241-22-1261